

平成25年11月29日
九州地方整備局
佐賀国道事務所

記者発表資料

唐津伊万里道路(唐津千々賀山田IC～北波多IC) 開通後の整備効果について【約半年後】

西九州自動車道唐津伊万里道路の唐津千々賀山田IC～北波多IC間(延長3.5km)が平成25年3月23日に開通し、同年4月10日及び5月31日に開通後の交通状況等をお知らせしたところです。
今回、開通約半年後の交通状況と開通に伴う整備効果をとりまとめましたのでお知らせします。

【開通区間の状況】

●西九州自動車道の利用が定着

今回開通区間の交通量は12時間あたり3,520台であり、開通直後の3,205台から315台(伸び率1.1)増加

【開通に伴う主な整備効果】

●特産品の品質確保が図られ地域産業を支援！

伊万里市の特産品である「伊万里梨」の輸送において、今回開通区間の利用により走行性が向上し、横揺れによる荷傷が少なくなることで品質確保が図られ地域産業を支援

●交通の転換により交通事故が減少！

交通が西九州自動車道へ転換したことにより、国道202号の交通事故件数が約9割減少

●アクセス性向上により定住人口が拡大！

北波多IC付近の分譲地購入者の約6割の方が唐津伊万里道路へのアクセス性の良さを購入理由の一つとしています。

問い合わせ先

国土交通省

九州地方整備局 佐賀国道事務所

TEL：0952-32-1151 (代表)



技術副所長 甲斐 浩己 (内線204)

計画課長 松尾 佳久 (内線261)

開通区間周辺の交通状況 西九州自動車道の利用が定着！

- 今回開通区間（唐津千々賀山田IC～北波多IC間）の交通量は12時間あたり3,520台で、**開通直後の3,205台から315台（伸び率1.10）増加**しています。
- 今回開通区間の利用により、並行する国道202号の交通量は開通前の12,272台から9,505台と**約3千台へ減少（伸び率0.77）**しており、混雑度も低下しています。



▲ 国道202号・唐津伊万里道路の交通状況(断面A)

地域産業の支援

走行性の向上により品質の確保が図られ地域産業を支援！

全国 2 位の果樹面積を有する伊万里梨！

- 全国的にも有名な「伊万里梨」は、**全国 2 位の果樹面積**を誇っています。
- 伊万里梨の出荷先は、京浜・中京・京阪神等の大都市圏や九州内各地へトラックにて陸送されています。

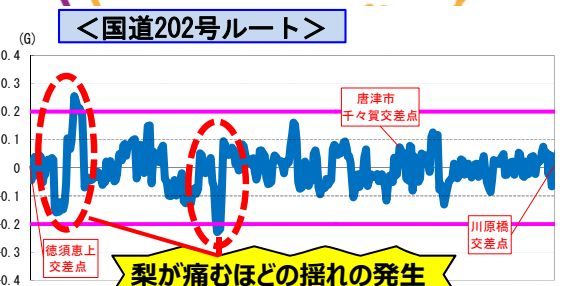
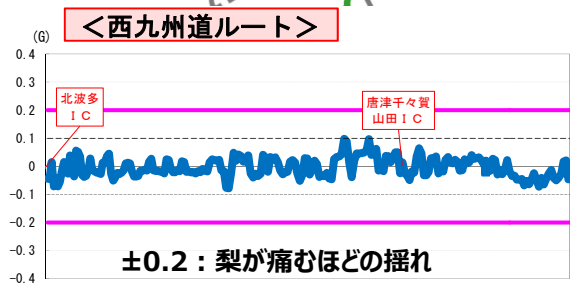
揺れの少ない唐津伊万里道路の利用で品質確保！

- 伊万里梨の出荷時は、**振動・温度・湿度**などが品質の確保に重要であり、出荷時の到着時間や振動による**荷傷**などは、**価格に大きく影響**します。
- 唐津伊万里道路の供用により、**速度向上による輸送時間の短縮**、線形不良箇所を回避し、**規格の高い道路を通行**することで**振動の影響も小さく、荷傷が少なくなることで品質の確保**が図られます。



近年では他の梨の産地との競争も厳しく、輸送時間短縮による鮮度の維持は非常に重要です。
また出荷や荷積みのために余裕ができるため、荷痛みなども未然に防ぐことができます。

JA伊万里ヒアリング結果より



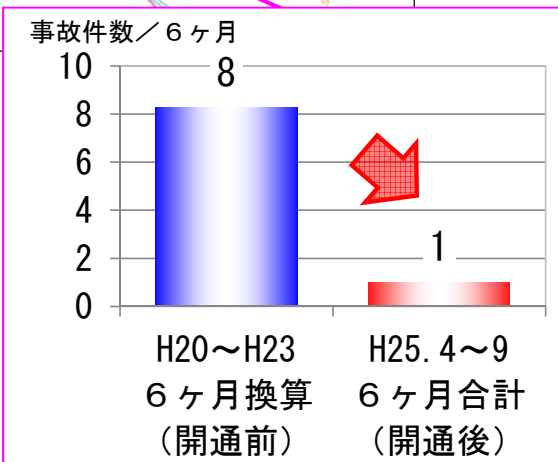
▲ 横加速度調査結果 (西九州道ルート、国道202号ルート)

安全性の向上へ寄与

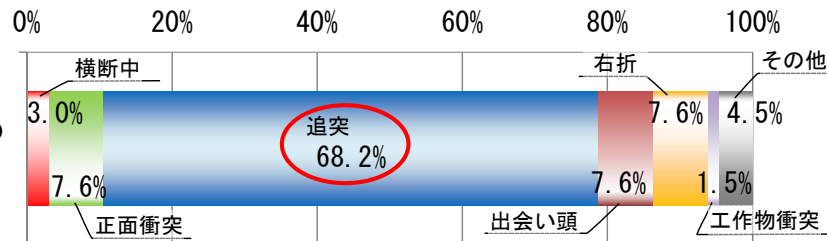
交通の転換により交通事故件数が9割減少！

今回の開通により並行する国道202号の交通安全性が向上！

- 今回開通区間に並行する国道202号（唐津市千々賀交差点～徳須恵上交差点間）の開通後の6ヶ月（H25.4～H25.9）間の交通事故件数は1件。これは過去4年間（H20～H23）の事故発生件数と比較すると、**約9割減少（8件/6ヶ月→1件/6ヶ月）**しています。
- 道路整備により交通安全性が向上しています。



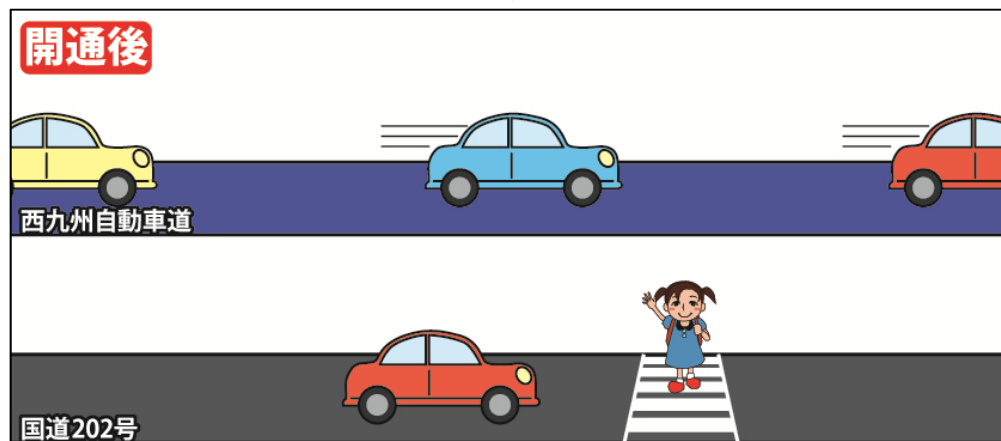
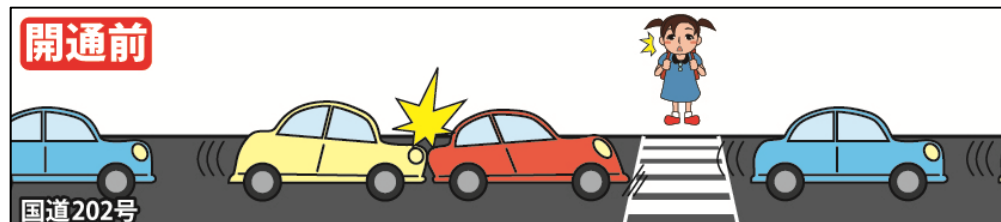
▲ 国道202号の交通事故発生状況
(唐津市千々賀交差点～徳須恵上交差点)



参考：国道202号の交通事故（1件） 類型：追突(H25.4～9)

▲ 国道202号の交通事故類型（H20-H23）

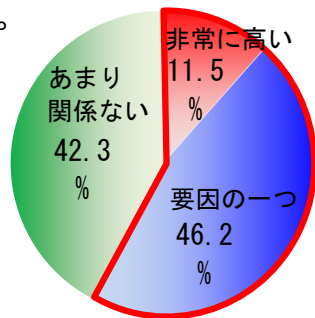
● 国道202号の交通量が西九州自動車道へ転換し、国道202号の追突事故等の危険性が低減！



定住人口拡大の支援 アクセシビリティ向上により定住人口が拡大！

唐津伊万里道路の整備を土地購入理由の1つとした方は、土地購入者の約6割！

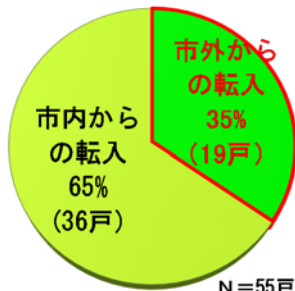
- 唐津市北波多地区に新たに整備された土地分譲地の『ニュータウンちぐさの』は、唐津伊万里道路の整備により福岡市街地等へのアクセスが高くなります。
- また、**土地購入者の約6割**の方が、唐津伊万里道路（北波多IC）への**アクセシビリティがよい事**を購入理由の一つとしてあげられています。
- 将来的には唐津伊万里道路の延伸により伊万里市街地への**アクセシビリティも向上**し、更なる利便性の向上が期待されています。



▲土地購入理由におけるインターの近さ要因

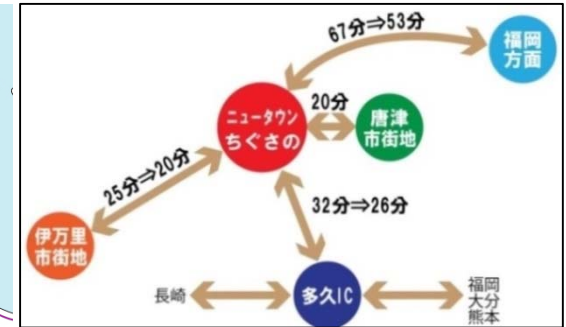
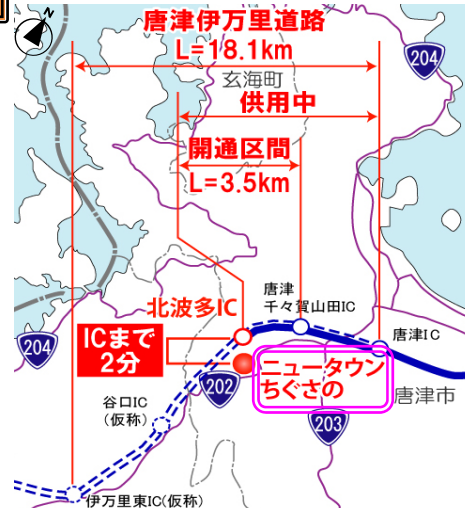
土地購入者の約4割は唐津市外からの転入者

- 『ニュータウンちぐさの』に新たに入居された方の**約4割は唐津市外からの転入者**です。
- 唐津市の人口は近年減少傾向にあるものの、道路整備が**唐津市の定住人口拡大**が期待されます。



▲『ニュータウンちぐさの』の転入状況

『ニュータウンちぐさの』は北波多ICまで約2分の位置に立地！道路整備により主要地域までのアクセシビリティが向上



※ H22道路交通センサスによる算出

▲ 主要地域までの所要時間の変化

道路整備により主要地域までのアクセシビリティが向上し、今後の延伸で更なる利便性の向上が期待されています。



北波多ICが開通した事により福岡が身近に感じる様になった。(伊万里方面の) 開通を心待ちにしています。



福岡在住の子供が帰宅するのに便利になったと喜んでいる。伊万里まで開通すれば伊万里が買物圏内となり買物選択肢が増えるので整備は早いほうが良いです。



今までよく糸島まで買い物に行っていましたが、北波多ICのおかげで気軽に行く事が出来てすごく便利です。伊万里方面への開通が楽しみです。

▲ 土地購入者からの声

※アンケート調査結果より (H25.10調査)

参考：開通区間周辺の交通状況

